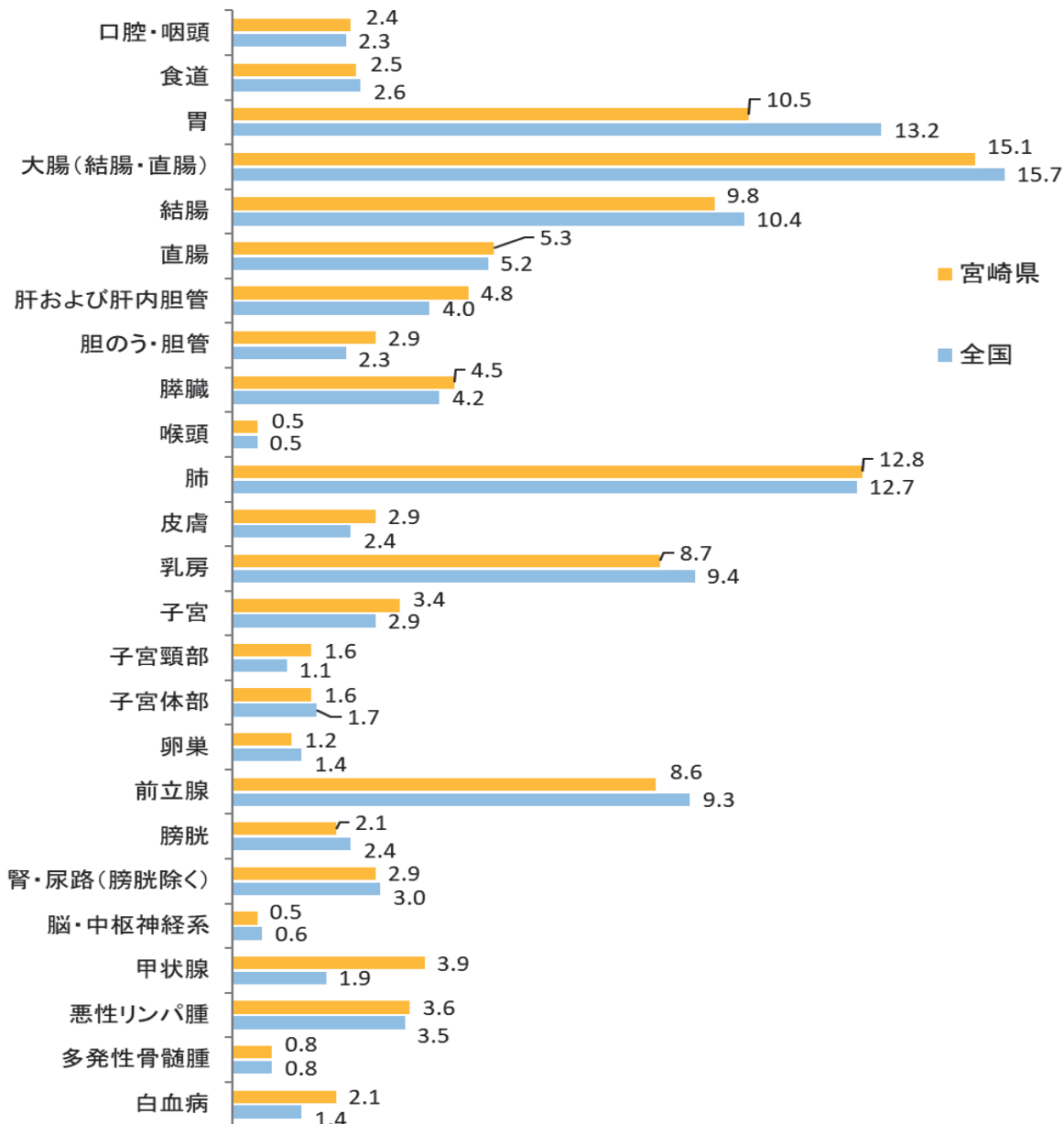


4 2017年がん罹患の概要

(1) 全体の概要 : 表 1A (上皮内がんを除く) から作成

2017年宮崎県の罹患数は、男性 4,780 件、女性 3,959 件の、合計 8,739 件であった。
 総計より、最も多いがんの発生部位は大腸(結腸・直腸)であり 15.1%、肺 12.8%、胃 10.5%
 と続く。男性では、前立腺 15.7%、肺 15.6%、大腸 15.1%、胃 12.5%であり、女性では、乳
 房 19.1%、大腸 15.1%、肺 9.5%、胃 8.1%であった。

2017年罹患部位割合(%) (全国比較)

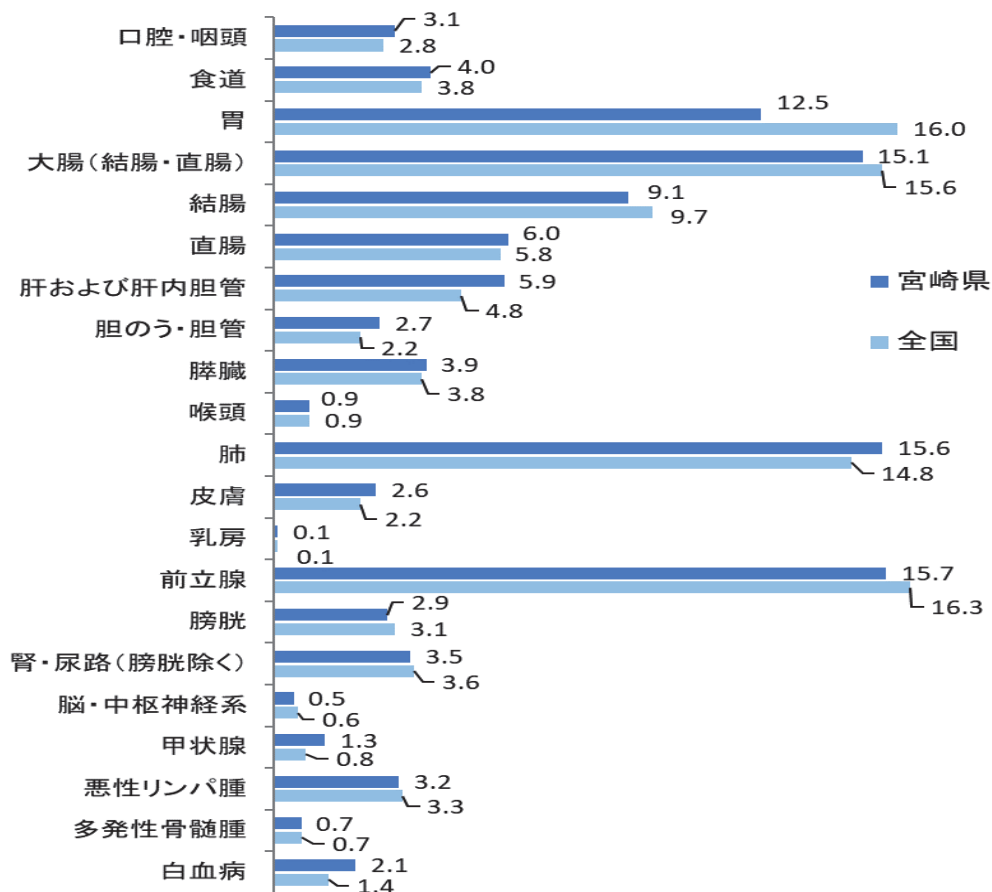


出典：全国値は、

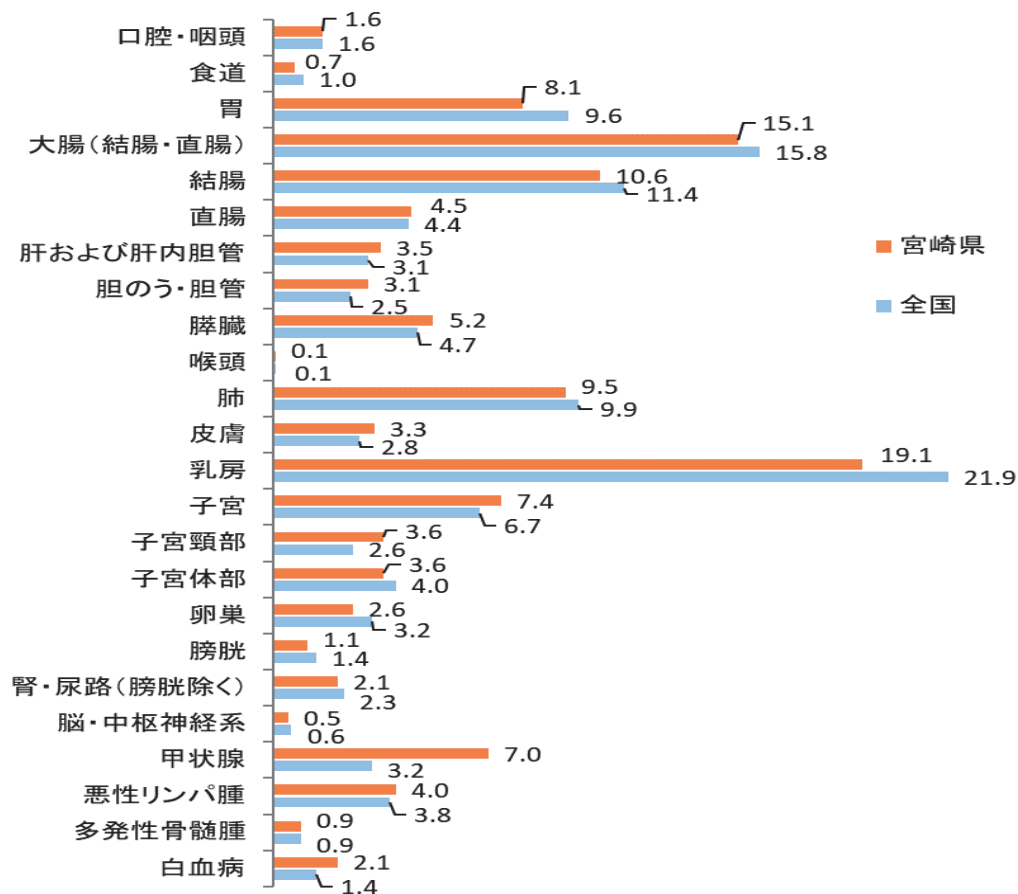
厚生労働省健康局がん・疾病対策課「全国がん登録罹患数・率報告 2017」から抜粋

注意：宮崎県の甲状腺については、特定の医療機関において初回登録が多数あるため
 割合は高くなっている

男性 罹患部位割合(%) (全国比較)



女性 罹患部位割合(%) (全国比較)

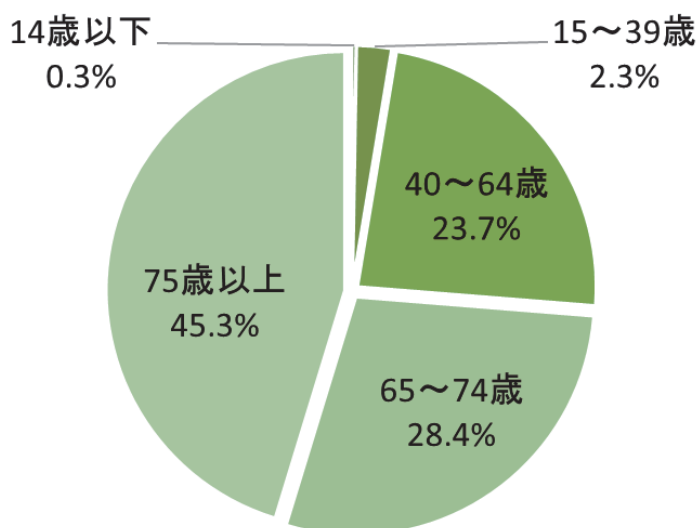


(2) 年齢階級別に見たがんの罹患 : 表 2A (上皮内がんを除く) から作成

年齢階級別にみると、75歳以上の割合は全体では45.3%、男性46.2%、女性44.2%であった。働き盛りの40-64歳では、男性18.9%、女性29.4%を占めている。男性の60歳から前立腺癌、女性の40歳から乳癌の罹患数がそれぞれ増加している。

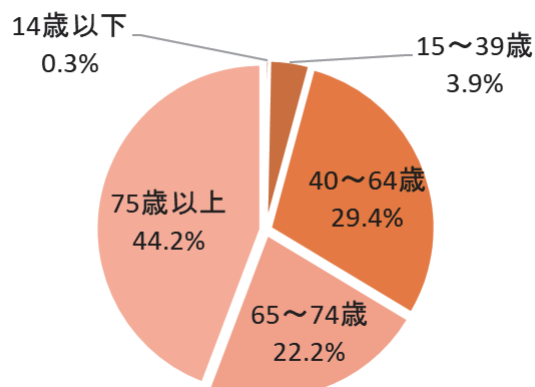
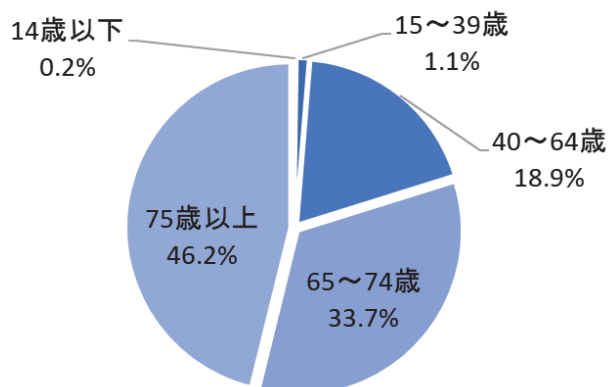
大腸がんは40歳から、また肺がんは50歳から徐々に多くなっている。

全体(件)	
14歳以下	24
15~39歳	205
40~64歳	2,067
65~74歳	2,486
75歳以上	3,957
合計	8,739



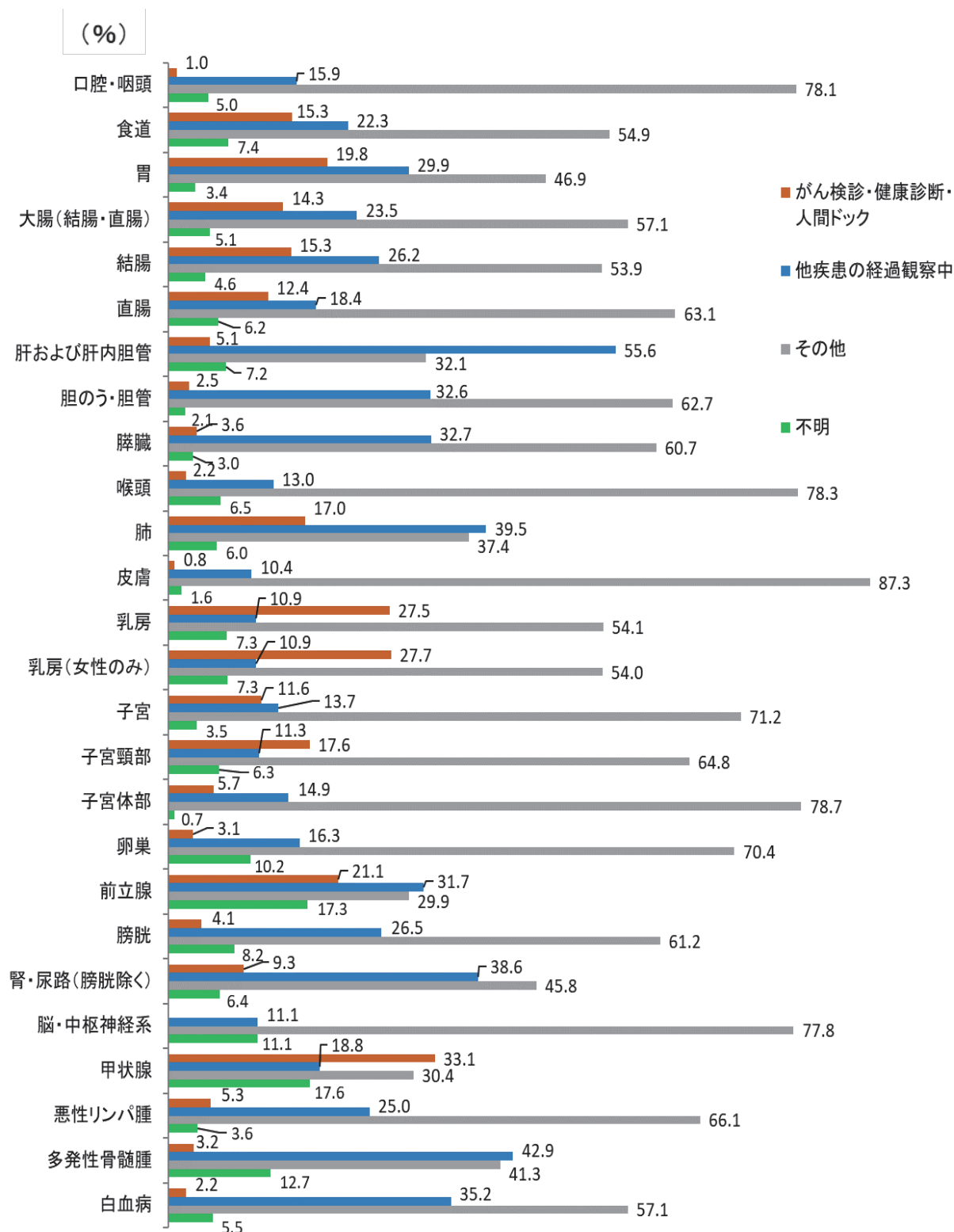
男性(件)	
14歳以下	11
15~39歳	51
40~64歳	903
65~74歳	1,609
75歳以上	2,206
合計	4,780

女性(件)	
14歳以下	13
15~39歳	154
40~64歳	1,164
65~74歳	877
75歳以上	1,751
合計	3,959



(3) 発見経緯から見たがんの罹患 : 表 4A (上皮内がんを除く) から作成

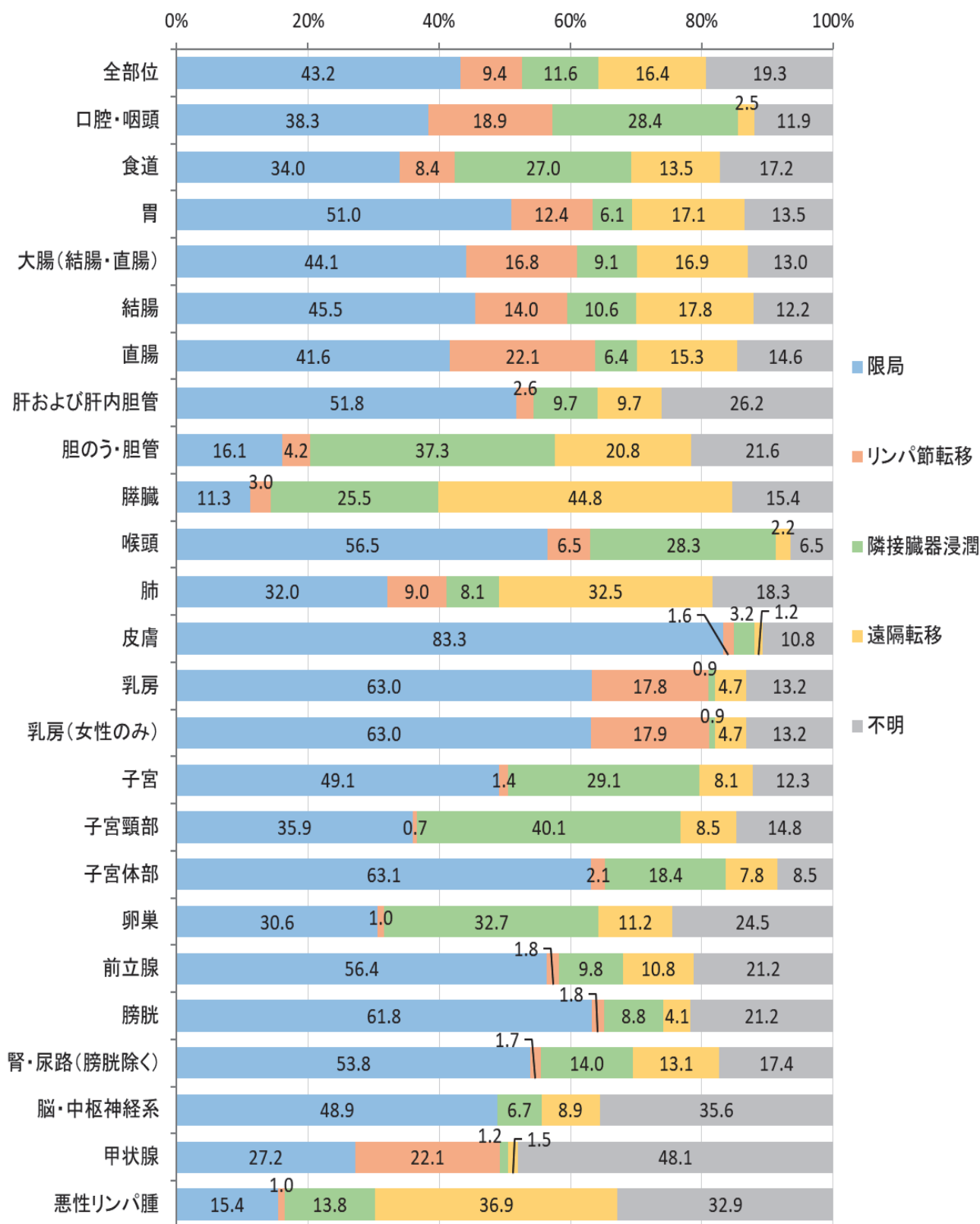
部位別に見ると、肝および肝内胆管、肺、前立腺、多発性骨髄腫は「他疾患の経過観察中」に発見された割合が高く、その他の部位では「その他(症状受診含む)」で発見された割合が高かった。「がん検診・健康診断・人間ドック」を見ると、胃、肺、乳房、子宮頸部および前立腺の発見割合が高かった。



注意：宮崎県の甲状腺については、特定の医療機関において初回登録が多数あるため「がん検診・健康診断・人間ドック」の割合は高くなっている

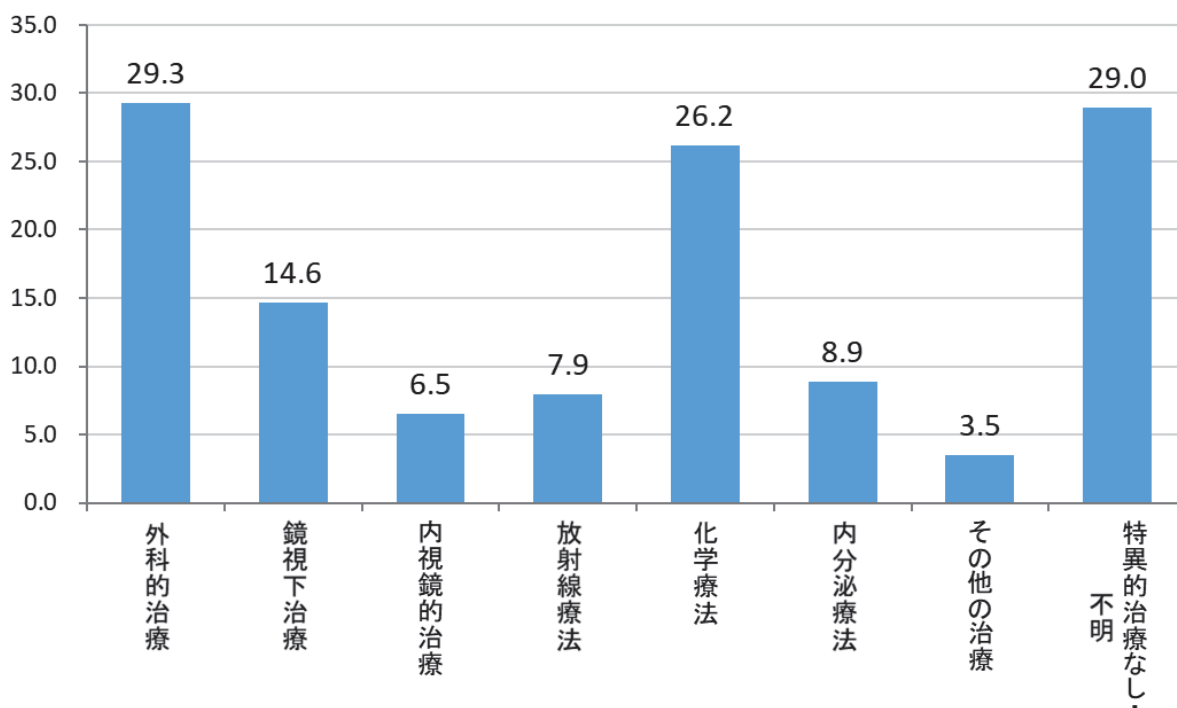
(4) 進展度分布から見たがんの罹患 : 表 5-1A (上皮内がんを除く) から作成

全部位の進展度を見ると、限局 43.2%、リンパ節転移 9.4%、隣接臓器浸潤 11.6%、遠隔転移 16.4%、不明 19.3%であった。限局の割合が 50.0%以上の部位は、胃、肝および肝内胆管、喉頭、皮膚、乳房、子宮体部、前立腺、膀胱、腎・尿路(膀胱除く)であった。



(5) 初回治療内容から見たがんの罹患：表 6A（上皮内がんを除く）表 6B（含む）から作成
 上皮内がんを除く全部位の初回治療内容を見ると、外科的 29.3%、鏡視下 14.6%、内視鏡的 6.5%であった。また、放射線 7.9%、化学 26.2%、内分泌 8.9%であった。
 上皮内がんを除く、含むともにそれぞれ重複を含むため合計は 100%にはならない。

全部位 8359件(上皮内がんを除く)の割合(%)



全部位 9177件(上皮内がんを含む)の割合(%)

